

市民生活・環境関係

件 名	千葉豪雨の対応について
内 容	警報の転送や避難所の設置が、印西市と比べて遅いと感じました。 八千代ポンプ場の停止に伴う下水道使用の自粛呼びかけも遅れた上に、ポンプ場が復旧してから自粛解除の連絡については、印西市が 15 日早朝に対して、白井市は 15 日 20 時 50 分でした。危機管理も市民への広報もあまりにも杜撰です。 見直しを要請します。
回 答	避難所の開設については、市の被害想定に基づき必要な避難所の開設を適切に行ったものと考えています。 気象情報が発表された場合、市町村は必要に応じて避難所を開設しますが、気象情報が発表される時間や、気象情報の発表に伴う避難所の開設時間は市町村によって異なるため、市としましては、気象情報などを総合的に勘案し、速やかな対応の判断及び市民への周知に努めている状況です。 当市には大きな河川がなく、河川氾濫による住宅の流失などの心配がないことから、大雨による浸水などに対する基本的な避難行動は垂直避難が最も安全な方法と捉えていますが、土砂災害への警戒は必要なことから、土砂災害警戒区域が多く存在する地域の避難所については、午後 8 時から 9 時までにかけて 3 か所を開設し、避難者の受け入れ体制を整え対応したところです。 次に、下水道使用自粛等の広報に係るご指摘につきましては、緊急時の連絡体制、現場対応と広報活動の両立など、改善すべき課題として真摯に受け止めております。 今後は、市民の皆さまへの適切な情報提供ができるよう改善を指示しましたので、御理解くださいますようお願いいたします。 （関係課：危機管理課、上下水道課、秘書課）

件 名	防災について
内 容	冠水道路でエンストを起こして 110 番通報をしましたが、警察に電話が繋がりませんでした。 警察が対応できないときは、県や市が連携して対策を立てることは出来ないでしょうか。また、レベル 5 大雨特別警報が発表され、市は災害対策本部等を立ち上げたのでしょうか 特に道路水没等は、周辺市町村や道路管理者と連携して早々に通行止め等の対策をやっていたら、水没車両が多数発生することはなかったと思います。 今後、行政でも危険と思われるところは、予想出来た時点で対策を立ててもらいたいです。今回の異常気象は今後も増えると思われます。
回 答	今回の豪雨において、本市では「レベル 3 大雨警報」が発表された時点で情報収集体制に入り、その後、「レベル 5 大雨特別警報」が発表されたことに伴い、8 月 13 日午後 8 時に市災害対策本部を設置し、対応いたしました。 道路の冠水等を含めた市内の被害状況につきましては、随時、消防・警察・県・その他関係機関等と連携し、情報の収集に努めたほか、一部の冠水発生箇所につきましては、現場にて警察及び市職員が通行止めの措置をいたしましたが、この度の千葉豪雨は市内でも時間雨量 110 ミリを記録し、過去に例を見ない大雨となったことから道路冠水が市内一円で発生したため、すべての箇所においての対応に至らなかったものです。

	ご指摘のとおり、近年は線状降水帯などによる豪雨被害が各地で発生しており、今後もこの傾向は続くものと考えています。 このような災害級の大雨の際には、市で全ての事象に対応していくことは困難であることから、関係機関との連携強化はもとより、事前周知の在り方についても検討してまいります。 この度は貴重な御意見を頂き、ありがとうございました。 (関係課：危機管理課)
--	--

件 名	豪雨時の帰宅困難者への対応について
内 容	先日の豪雨の際、公共交通機関の乱れにより長時間帰宅できず、深夜 2 時頃に徒歩で帰宅することになり、その途中で市役所の車両を何台か見かけましたが、帰宅困難者や歩行に困難のある方への声掛け・状況確認などは特にありませんでした。 「災害時要配慮者」や帰宅困難者への支援について、実際にこのような状況に置かれた場合、どのような対応や支援が想定されているのでしょうか。 深夜に帰宅できなくなった人や、歩行等に困難のある人に対して、市としてどのような支援体制を想定しているのか、お聞かせいただければと思います。
回 答	市では、地域防災計画に基づき、帰宅困難者の方々を一時的に受け入れるための滞在施設を選定し、災害時の開設や運営体制を整備することとしております。 今回の豪雨についても、北総鉄道と情報共有し、多くの帰宅困難者が想定されたことから、安全に待機いただけるよう白井駅前センター及び西白井複合センターを避難所として開設し、トイレや滞在場所はもとより、水や非常食の提供にも対応できるよう準備を行いました。 また、要配慮者につきましては、土砂災害警戒区域にお住いの避難行動要支援者から順次個別避難計画を作成しており、今回においても職員が電話にて安否確認を行うなどの対応をしたところです。 今回の豪雨は冠水、浸水、停電など想定を大きく超える災害となり、今後は深夜の帰宅困難者や歩行等に困難を抱える方々への配慮と併せて、避難所開設、受け入れ体制及び鉄道事業者との連携など十分な検証を行い、対策に取り組んでまいります。 このたびは貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。 (関係課：危機管理課)